

2007年度業績および 2008年度事業戦略について

2008年4月25日

住商情報システム株式会社
代表取締役社長 阿部康行



住商情報システム株式会社

Sumisho Computer Systems Corporation

2006年度

2007年度

2008年度

収益基盤の
構築

中期的
成長軌道の
確保

結果

収益基盤の
強化

成長基盤の
拡充

2007年度 業績について

2007年度において最高益を達成

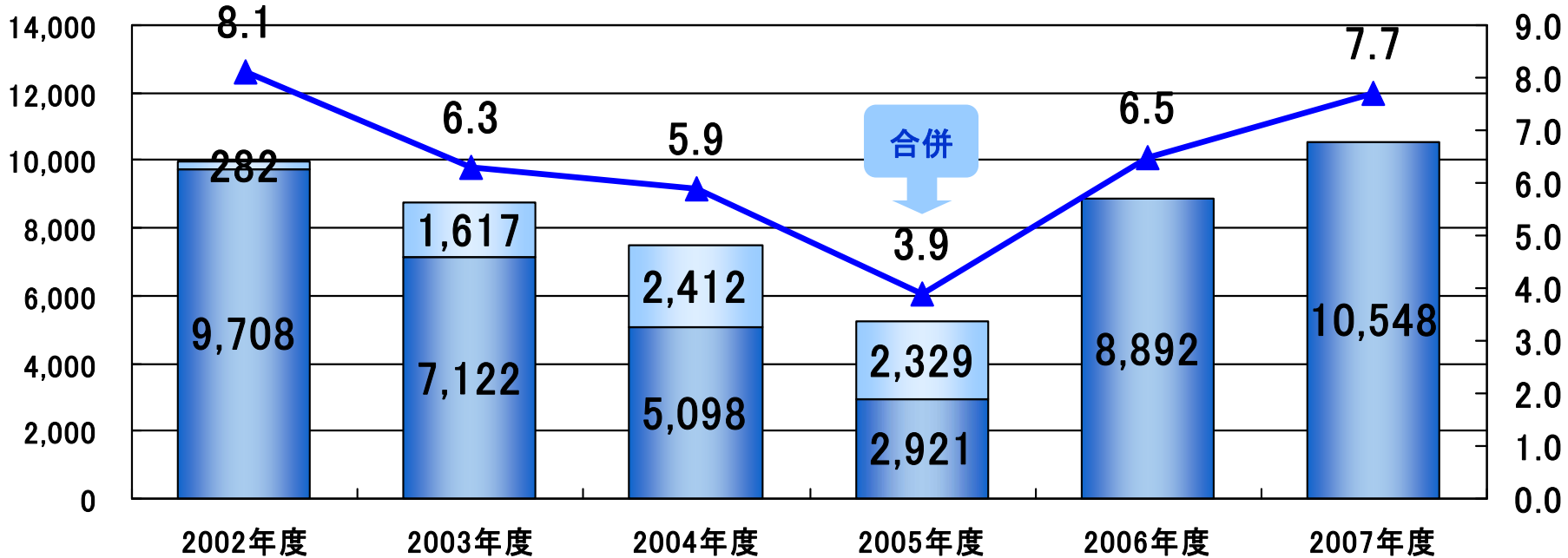
一部参考数値

- SSE
- SCS

経常利益(百万円)

連結

経常利益率(%)

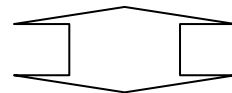


※2002年度から2005年度はプロフォーマベース

2007年度

収益基盤の強化

- ターゲットビジネスの拡充・事業シナジーの追求
- グローバル戦略・差別化戦略の推進
- 新規事業開発力・プロダクト開発力の強化
- 技術基盤・ソフトウェア開発力の高度化
- 人材力の強化



経営インフラの高度化

(業務改革の推進・内部統制の強化・次期基幹系システム構築)

ターゲットビジネスの拡充・事業シナジーの追求

- ソフトウェア受託開発事業の収益向上
 - ・プロジェクト管理の徹底による生産性向上
- 製造ソリューション事業展開
 - ・生産ラインシミュレーション分野(DELMI)での業容拡大
 - ・CAE分野の独自領域を開拓
- ProActive事業推進
 - ・新バージョンリリース後、マーケティング活動を積極的に展開
- Curl事業戦略
 - ・北米マーケティングを実施し、本格的事業展開を開始
 - ・中国、インドを開発・運用・検証拠点として活用
- netXDC拡張
 - ・第1センターIDC化増床・第2センター増床完了

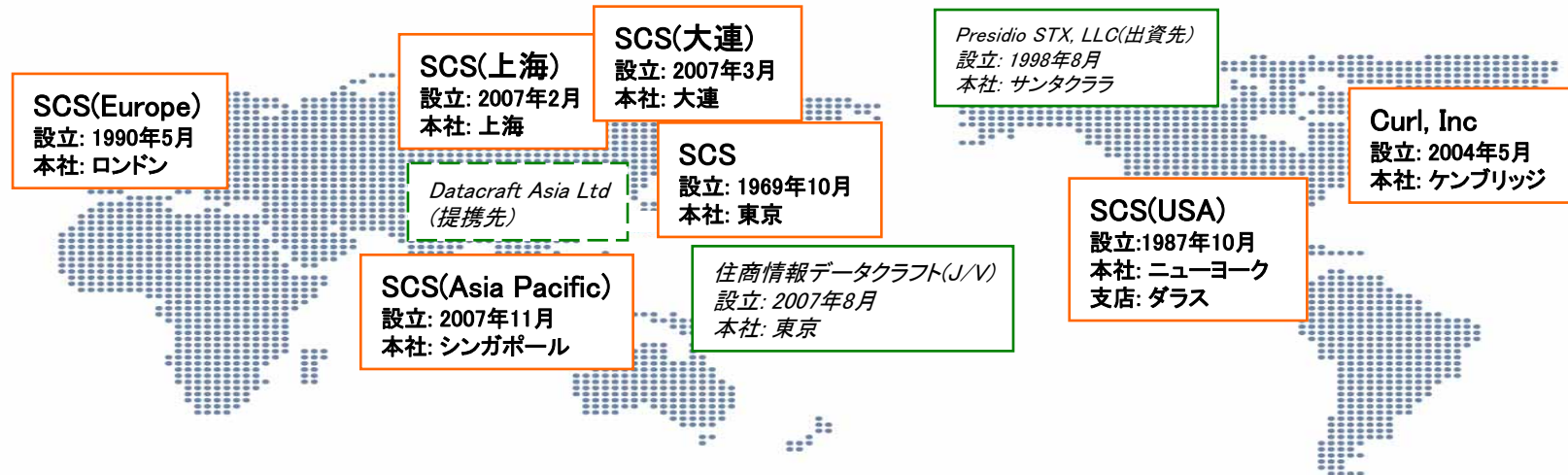
グローバル戦略の推進

▶ 海外拠点の強化・拡充

- ・中国・アセアン諸国・インド・豪州等への日系顧客へのITサービス本格提供
⇒SCS(上海)、SCS(Asia Pacific)設立
- ・オフショアソフトウェア開発の本格的始動
⇒SCS(大連)設立

▶ グローバルサポート体制の拡充

- ・ネットワーク・アウトソーシング・サービスの提供
⇒住商情報データクラフト設立



新規事業開発力の強化

▶ERP分野における周辺ビジネスの強化

- ・CRM(顧客情報管理システム)、SFA(営業支援システム)ソリューション事業の強化
⇒エンプレックス(株)を子会社化(持分比率57.6%)
- ・ワークフローパッケージビジネス強化
⇒(株)エイトレッドを(株)ソフトクリエイイトと共同設立(持分比率20%)

▶ビジネス開発力の強化

- ・新技術開拓のため、米国におけるベンチャーキャピタル/ファンドに出資

技術基盤・ソフトウェア開発力の高度化

▶技術基盤の専門教育の実施

人材力・技術力の強化

▶研修体系の全面的刷新

経営インフラの高度化

▶業務改革の推進・内部統制の強化

S&S グループ力の強化

| | |
|--|--|
| 住商情報システム(上海)有限公司 設立 中国内日系顧客へのITサービス提供 | 持分比率100% 2007年2月設立(2007年4月営業開始) |
| 住商情報システム(大連)有限公司 設立 中国オフショアソフトウェア開発 | 持分比率100% 2007年3月設立(2007年4月営業開始) |
| (株)エイトレッドを(株)ソフトクリエイイトと共同設立 ワークフローパッケージソフトビジネスの強化 | 持分比率20% 2007年5月設立 |
| エンプレックス(株) 資本・業務提携 CRM、SFAソリューション事業の強化 | 持分比率57.6% 2007年6月資本・業務提携 2008年3月追加出資 |
| 住商情報データクラフト(株) 設立 高付加価値ネットワーク運用、アウトソーシングサービスの提供 | 持分比率50% 2007年8月設立 |
| (株)アライドエンジニアリング 資本・業務提携 製造業向けソリューション事業の強化・拡充 | 持分比率90% 2007年8月資本・業務提携 |
| Sumisho Computer Systems (AsiaPacific) 設立 アセアン諸国、インド、豪州等への進出日系企業向けITサービスの提供 | 持分比率100% 2007年11月設立(2008年1月営業開始) |
| エヌ・デーソフトウェア(株) 資本・業務提携 国内開発拠点の設置 | 持分比率4.9% 2007年12月資本・業務提携 |

2008年度 事業戦略について

2008年度

成長基盤の拡充

- ターゲットビジネスの拡充
- グローバル戦略の推進
- ソフトベンダー事業の展開
- 主要顧客との関係強化
- 技術基盤・ソフトウェア開発力・品質管理の高度化
- 人材の組織管理・営業・技術力の強化

“とんがりビジネス”
戦略

経営インフラの更なる高度化

(内部統制・コンプライアンス・情報セキュリティの強化)



< 業務系ソリューション >

事業シナジーの追求

環境認識

事業戦略

流通 ソリューション

個人消費次第であるものの、小売業・卸売業のIT投資は横這いを予測

・消費・流通分野での新たなソリューションを開拓

金融 ソリューション

サブプライムローン問題に端を発する金融市場の混乱が国内金融機関のシステム更新投資需要に影響を及ぼす模様

・保険業界向けソリューションビジネスの展開・強化
・アカウント型ビジネスからソリューション型ビジネスへ移行

製造 ソリューション

為替市場の変動の影響はあるものの、競争優位性獲得を目的とした設備投資需要は継続する模様

・ものづくり支援のワンストップサービスの提供
・業務プロセス改善提案における、コンサルティングサービス業務の拡充
・グローバルビジネスの展開
・CAE分野の強化

< ERPソリューション >

マーケティング戦略の強化

環境認識

事業戦略

ProActive
ビジネス

中堅・中小企業においては、J-Sox法の要件確定に伴い特に上場企業におけるERP需要の増加を想定

- ・ProActive E2の拡販施策の積極的推進
- マーケティング戦略の強化
- 販売パートナーの育成

SAP,ORACLE他
ERPビジネス

大企業における、J-Sox法・グローバル対応のためのERPに対するニーズは依然として高いと予想

- ・ERPの周辺ソリューションの拡充によるトータルの付加価値をアップ
- ・グローバル対応による他社との差別化

< プラットフォームソリューション >

SI力強化による付加価値戦略の追求

環境認識

事業戦略

ネットワーク・セキュリティソリューション

ネットワーク機器関連の低価格化により、厳しい環境は続くものの、J-SOX法対応のためのセキュリティニーズは拡大する見通し

- ・ルータービジネスの展開・強化
- ・ケーブルテレビビジネスの拡大・強化
- ・グローバルネットワークビジネスの拡充
- ・セキュリティ等の組合せ技術の深堀

データセンターソリューション

資産の効率的運用の手段としてITアウトソーシングの利用は拡大しており、依然としてデータセンターの需要は高い模様

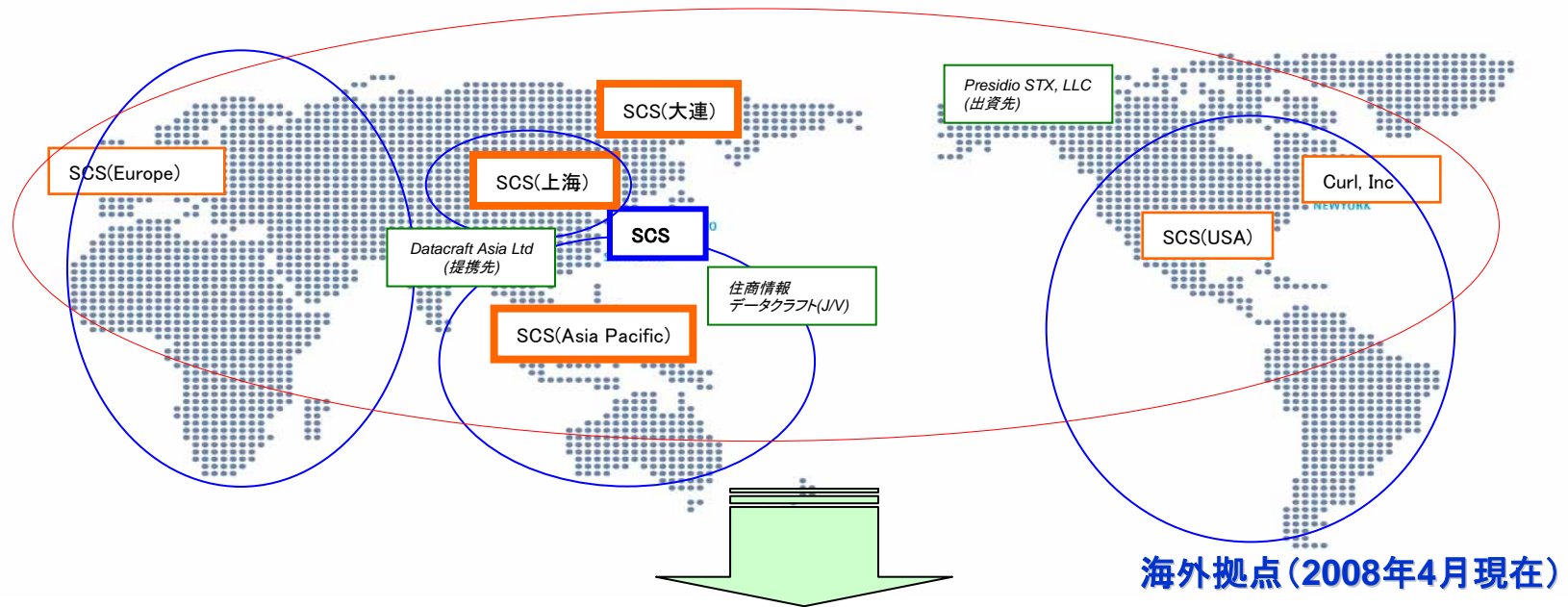
- ・第1センターリニューアル、第2センター増床による都市型データセンターの拡充

HPCソリューション

ハードウェア機器の低価格化により厳しい環境の中、大容量システムの需要が学術のみならず、一般企業へ拡大する模様

- ・ベンダーとの連携の中、システムアーキテクトを活用し、付加価値を向上
- ・仮想化技術を活用し、ITインフラの効率化・TCO削減を推進

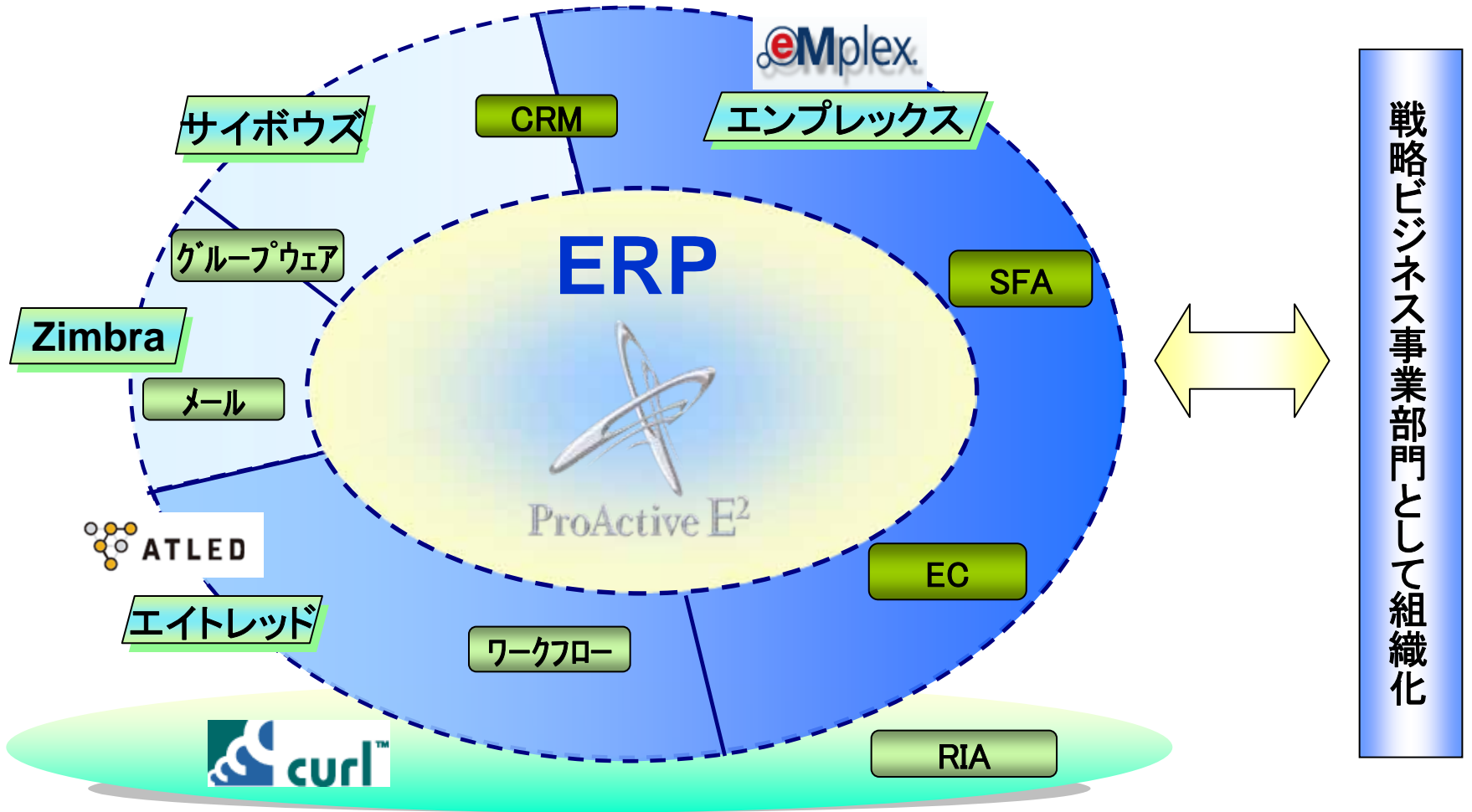
5極体制におけるグローバルITサービスの強化・拡充

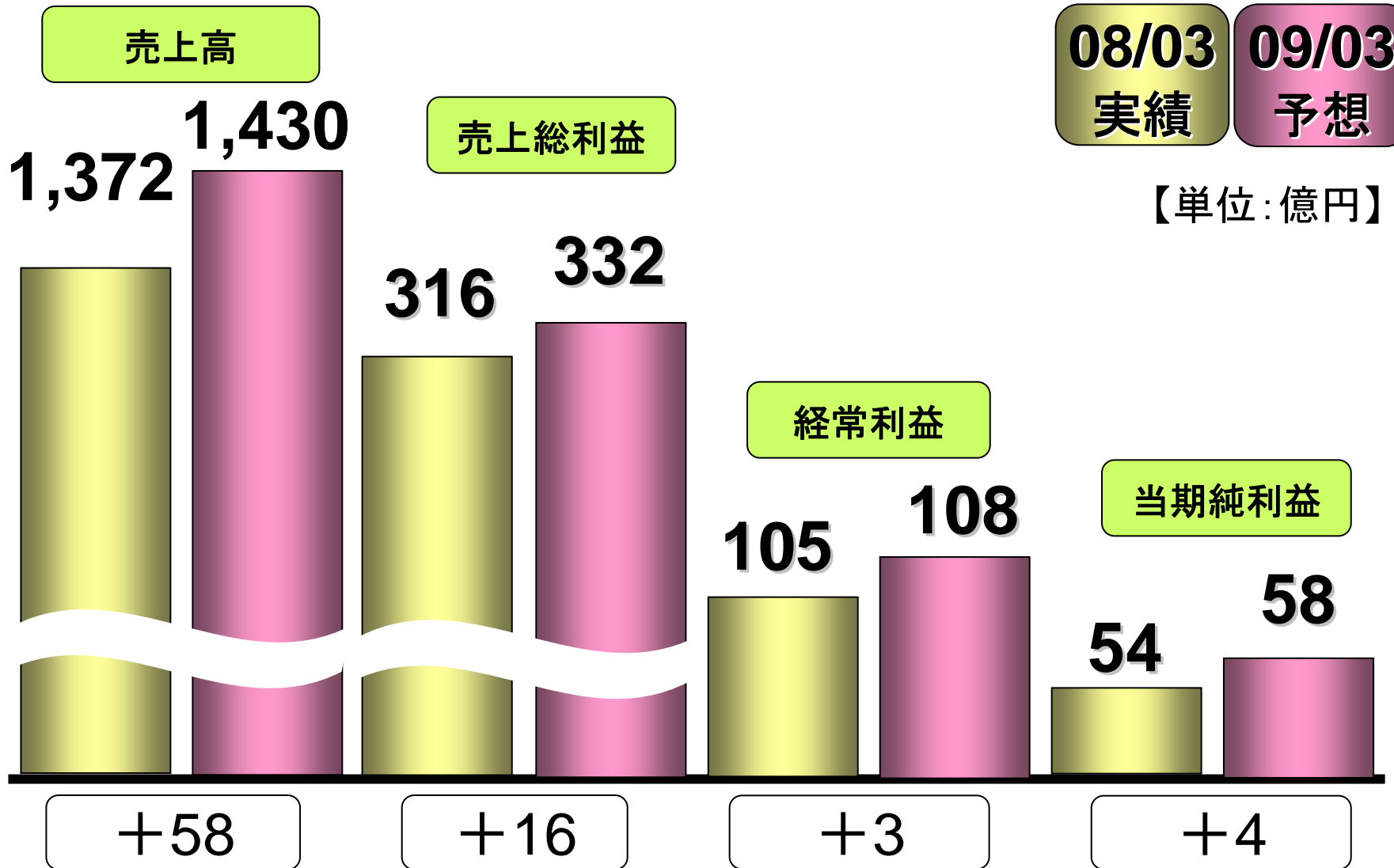


SAP中心のビジネス展開に加え、
製造・金融・プラットフォームソリューションのグローバル展開へ

ソフトベンダー事業の展開

マーケティングを含む各事業の事業連携及び各ソフト開発にかかる技術連携





今後とも皆様のご支援
ご鞭撻を賜りますよう
よろしくお願い申し上げます。

2008年3月期 連結業績について

2008年4月25日

住商情報システム株式会社
コーポレート部門長 石坂 信彦



住商情報システム株式会社

Sumisho Computer Systems Corporation

【連結】

(単位:百万円)

| | 2006年4月 ～ 2007年3月 | 2007年4月 ～ 2008年3月 | 増減額 | 増減率(%) |
|-------|----------------------|----------------------|-------|--------|
| 売上高 | 137,344 | 137,199 | △145 | △ 0.1% |
| 売上総利益 | 30,696 | 31,593 | 896 | 2.9% |
| 販管費 | 22,136 | 21,283 | △ 852 | △ 3.9% |
| 営業利益 | 8,560 | 10,309 | 1,749 | 20.4% |
| 経常利益 | 8,892 | 10,548 | 1,656 | 18.6% |
| 当期純利益 | 4,377 | 5,415 | 1,037 | 23.7% |

部門別(新)売上高比較(通期)

【連結】

(単位:百万円)

| | 2006年4月 ～ 2007年3月 (構成比 %) | 2007年4月 ～ 2008年3月 (構成比 %) | 増減額 | 増減率 (%) |
|---------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------|------------|
| 業務系 ソリューション | 71,876 (52.3%) | 70,625 (51.5%) | △1,251 | △1.7% |
| ERP ソリューション | 15,133 (11.0%) | 15,341 (11.2%) | 207 | 1.4% |
| プラットフォーム ソリューション | 50,334 (36.6%) | 51,232 (37.3%) | 898 | 1.8% |
| 合計 | 137,344 (100.0%) | 137,199 (100.0%) | △145 | △0.1% |

部門別(旧)売上高比較(通期)

【連結】

(単位:百万円)

| | 2006年4月 ～ 2007年3月 (構成比%) | 2007年4月 ～ 2008年3月 (構成比%) | 増減額 | 増減率 (%) |
|--------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------|------------|
| ソフトウェア開発 | 47,912 (34.9%) | 48,525 (35.4%) | 612 | 1.3% |
| 情報処理 | 34,485 (25.1%) | 36,010 (26.2%) | 1,525 | 4.4% |
| システム販売 | 54,946 (40.0%) | 52,662 (38.4%) | △2,284 | △4.2% |
| 合計 | 137,344 (100.0%) | 137,199 (100.0%) | △145 | △0.1% |
| 〔受注高〕 ソフトウェア開発 | 49,323 | 47,460 | △1,862 | △ 3.8% |
| 〔受注残高〕 ソフトウェア開発 | 7,029 | 5,964 | △1,064 | △ 15.2% |

【連結】

(単位:百万円)

| | ソフトウェア開発 | 情報処理 | システム販売 | 合計 (構成比%) |
|---------------------|-------------------|-------------------|-------------------|---------------------|
| 業務系 ソリューション | 34,681 | 18,275 | 17,668 | 70,625 (51.5%) |
| ERP ソリューション | 11,419 | 643 | 3,279 | 15,341 (11.2%) |
| プラットフォーム ソリューション | 2,424 | 17,092 | 31,715 | 51,232 (37.3%) |
| 合計 (構成比%) | 48,525 (35.4%) | 36,010 (26.2%) | 52,662 (38.4%) | 137,199 (100.0%) |

業種別売上高比較(通期)

【連結】

(単位:百万円)

| | 2006年4月～2007年3月 | | 2007年4月～2008年3月 | | 増減 | |
|--------|-----------------|--------|-----------------|--------|--------|--------|
| | 金額 | 構成比(%) | 金額 | 構成比(%) | 金額 | 増減率(%) |
| 製造 | 34,346 | 25.0% | 37,347 | 27.2% | 3,001 | 8.7% |
| 流通 | 26,588 | 19.4% | 27,850 | 20.3% | 1,261 | 4.7% |
| 金融 | 15,824 | 11.5% | 17,490 | 12.7% | 1,666 | 10.5% |
| 銀行 | 5,189 | 3.8% | 6,186 | 4.5% | 997 | 19.2% |
| 証券 | 4,550 | 3.3% | 5,260 | 3.8% | 709 | 15.6% |
| 信販・リース | 3,159 | 2.3% | 2,781 | 2.0% | △378 | △12.0% |
| 生保・損保 | 2,923 | 2.1% | 3,262 | 2.4% | 338 | 11.6% |
| 通信・運輸 | 26,083 | 19.0% | 21,675 | 15.8% | △4,408 | △16.9% |
| 電力・ガス | 2,908 | 2.1% | 2,448 | 1.8% | △459 | △15.8% |
| サービス・他 | 31,594 | 23.0% | 30,385 | 22.1% | △1,208 | △3.8% |
| 合計 | 137,344 | 100.0% | 137,199 | 100.0% | △145 | △0.1% |

※一部データの修正があり、前年度の銀行の売上金額に変更があります。

売上高

1 億円

上期（4～9月） 26 億円

増加要因 + 14 億円

| | | |
|------------|-------|---------|
| 業務系ソリューション | 製造業向け | + 11 億円 |
| 業務系ソリューション | 金融業向け | + 3 億円 |

減少要因 40 億円

| | | |
|-----------------|-------|-------|
| 事業譲渡関連 | 6 億円 | |
| ネットワーク機器関連 | 22 億円 | |
| 期末変動要因 | 2 億円 | |
| プラットフォームソリューション | 流通業向け | 10 億円 |

下期（10～3月） + 25 億円

増加要因 + 51 億円

| | | |
|---------------|-------|---------|
| 業務系ソリューション | 製造業向け | + 4 億円 |
| 業務系ソリューション | 金融業向け | + 8 億円 |
| ERPソリューション | 製造業向け | + 3 億円 |
| ERPソリューション | 流通業向け | + 4 億円 |
| 官公庁向けハードウェア販売 | | + 32 億円 |

減少要因 26 億円

| | |
|------------|-------|
| 事業譲渡関連 | 13 億円 |
| ネットワーク機器関連 | 6 億円 |
| 期末変動要因 | 7 億円 |



売上総利益分析 (対前年同期比 主要増減要因 4~3月)

売上総利益

+ 9.0 億円

上期 (4 ~ 9 月) 0.4 億円

増加要因 + 3.6 億円

収益性改善 + 2.7 億円

不採算案件(2.4 1.5) + 0.9 億円

減少要因 4.0 億円

事業譲渡関連 2.4 億円

ネットワーク機器関連 1.6 億円

下期 (10 ~ 3 月) + 9.4 億円

増加要因 + 16.6 億円

収益性改善 + 8.8 億円

不採算案件(4.7 1.9) + 2.8 億円

増収による増益 + 5.0 億円

減少要因 7.2 億円

事業譲渡関連 5.7 億円

ネットワーク機器関連 1.5 億円

◆ 販管費

△ 8.5億円

上期 (4 ~ 9 月) 3.7 億円

増加要因 + 3.1 億円

収益基盤拡充(グローバル事業戦略他) + 1.6 億円
 人材力拡充(人材教育費他) + 0.8 億円
 マネジメント基盤拡充(内部統制強化他) + 0.7 億円

減少要因 6.8 億円

事業譲渡関連 2.3 億円
 間接部門効率化 1.0 億円
 事業部門販管費効率化 1.0 億円
 ニューステージホールドプログラム 2.5 億円

下期 (10 ~ 3 月) 4.8 億円

増加要因 + 4.5 億円

収益基盤拡充(グローバル事業戦略他) + 2.7 億円
 人材力拡充(人材教育費他) + 0.7 億円
 マネジメント基盤拡充(内部統制強化他) + 1.1 億円

減少要因 9.3 億円

事業譲渡関連 3.0 億円
 間接部門効率化 1.0 億円
 事業部門販管費効率化 3.0 億円
 期末変動要因 2.3 億円

2009年3月期 連結業績予想について

【連結】

(単位:百万円)

| | 2007年4月 ～ 2008年3月 | 2008年4月 ～ 2009年3月 | 増減額 | 増減率(%) |
|-------|----------------------|----------------------|-------|--------|
| 売上高 | 137,199 | 143,000 | 5,801 | 4.2% |
| 売上総利益 | 31,593 | 33,200 | 1,607 | 5.1% |
| 販管費 | 21,283 | 22,700 | 1,417 | 6.7% |
| 営業利益 | 10,309 | 10,500 | 191 | 1.9% |
| 経常利益 | 10,548 | 10,800 | 252 | 2.4% |
| 当期純利益 | 5,415 | 5,800 | 385 | 7.1% |

今期業績予想説明(売上高)

| | 2008年 3月期 | 2009年 3月期 | 増加額 |
|-------|--------------|--------------|-------|
| 売上高 | 1,372億円 | 1,430億円 | +58億円 |
| 売上総利益 | 316億円 | 332億円 | +16億円 |
| 販管費 | 213億円 | 227億円 | +14億円 |
| 営業利益 | 103億円 | 105億円 | + 2億円 |

- ・ グローバル戦略の推進 + 10億円
- ・ ProActiveビジネス + 9億円
- ・ プロダクトディストリビューション
ビジネスの商権拡大 + 30億円
- ・ その他 + 9億円

今期業績予想説明(売上総利益)

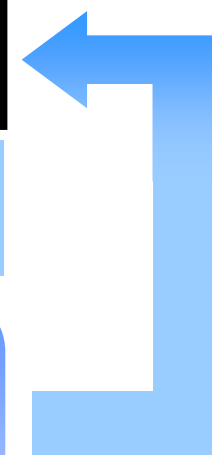
| | 2008年 3月期 | 2009年 3月期 | 増加額 |
|-------|--------------|--------------|-------|
| 売上高 | 1,372億円 | 1,430億円 | +58億円 |
| 売上総利益 | 316億円 | 332億円 | +16億円 |
| 販管費 | 213億円 | 227億円 | +14億円 |
| 営業利益 | 103億円 | 105億円 | + 2億円 |

- ・ グローバル戦略の推進 + 3.0億円
- ・ ProActiveビジネス + 5.0億円
- ・ プロダクトディストリビューション
ビジネスの商権拡大 + 5.5億円
- ・ 生産性の向上、その他 + 2.5億円



今期業績予想説明(販管費)

| | 2008年 3月期 | 2009年 3月期 | 増加額 |
|-------|--------------|--------------|-------|
| 売上高 | 1,372億円 | 1,430億円 | +58億円 |
| 売上総利益 | 316億円 | 332億円 | +16億円 |
| 販管費 | 213億円 | 227億円 | +14億円 |
| 営業利益 | 103億円 | 105億円 | + 2億円 |



- ・グローバル戦略の推進 + 2.5億円
- ・ProActiveビジネス等 + 5.0億円
- ・プロダクトディストリビューション
ビジネスの商権拡大 + 3.0億円
- ・経営インフラの拡充 + 2.5億円
- ・その他 + 1.0億円

配当の状況及び自己株式の取得について

➤ 配当の状況

- ・1株あたり期末配当金
15円 ⇒ 16円
(年間配当金31円)

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | | |
|----------------|----------|----|----|----|----|----|
| | 中間期末 | | 期末 | | 年間 | |
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 19年3月期 | 13 | 00 | 15 | 00 | 28 | 00 |
| 20年3月期 | 15 | 00 | 16 | 00 | 31 | 00 |
| 21年3月期 (予想) | 16 | 00 | 16 | 00 | 32 | 00 |

➤ 自己株式の取得内容

- 取得した株式の種類 当社普通株式
- 取得した株式の総数 1,781,200株
[発行済株式総数に対する割合 3.28%]
- 株式の取得価額の総額 3,387百万円
- 取得を実施した期間 平成20年1月29日～平成20年3月14日

(ご参考) 平成20年3月31日時点の自己株式の保有

| | |
|------------------|--------------------|
| 発行済株式総数(自己株式を除く) | <u>51,309,721株</u> |
| 自己株式数 | <u>2,981,726株</u> |

本資料に掲載している情報のうち過去の歴史的事実以外のものは、現在入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による当社の将来の見通しであり、経済動向、業界での激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があり、当社は皆様が本資料の情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。